



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 村上開明堂 上場取引所 東  
 コード番号 7292 URL http://www.murakami-kaimeido.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経営管理部長 (氏名) 長谷川 猛 TEL 054-253-1811  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,830	38.5	1,168	193.7	1,310	176.3	1,477	529.9
24年3月期第1四半期	11,426	△24.1	397	△74.8	474	△70.8	234	△71.2
(注) 包括利益	25年3月期第1四半期 1,937百万円 (309.1%)		24年3月期第1四半期 473百万円 (△49.5%)					

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	114.18	—
24年3月期第1四半期	18.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	48,766	30,893	61.2	2,306.06
24年3月期	46,755	29,147	60.2	2,175.37
(参考) 自己資本	25年3月期第1四半期 29,840百万円	24年3月期 28,149百万円		

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	24.5	2,250	47.7	2,500	46.3	2,000	131.5	154.50
通期	58,500	6.5	4,250	△2.4	4,700	△10.0	3,500	43.4	270.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	13,100,000株	24年3月期	13,100,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	159,775株	24年3月期	159,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	12,940,225株	24年3月期1Q	12,942,605株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や緩やかながらも個人消費の復調が見られ全体的には回復基調の動きが見られました。一方、世界経済全体では、欧州における債務問題により景気後退の懸念材料は払拭されていないものの、新興国の経済成長に牽引される流れを受け、世界経済は成長が緩やかなものとなりました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内では震災後の自動車メーカーによる生産体制の回復に加え、「エコカー補助金」による環境対応車普及策の効果により、自動車生産台数は前年同期を大きく上回ることとなりました。また海外においても、北米における堅調な需要の伸びと、中国を代表とするアジア市場の需要増により自動車生産台数は前年同期を上回ることとなりました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は、自動車用バックミラーを主力製品とするミラーシステム事業において、被災後の自動車メーカー各社における生産体制の回復と「エコカー補助金」による需要増により15,830百万円（前年同期比38.5%増）と大きく増加いたしました。利益につきましても、自動車生産台数の増加に伴う売上高増加等により、営業利益は1,168百万円（前年同期比193.7%増）、経常利益は1,310百万円（前年同期比176.3%増）、四半期純利益1,477百万円（前年同期比529.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本

被災後の自動車メーカーにおける生産体制の回復と「エコカー補助金」による需要の増加により、売上高は10,625百万円（前年同期比62.2%増）となり、営業利益は1,001百万円（前年同期は営業損失157百万円）となりました。

#### ②アジア

市場における自動車需要の増加により、売上高は3,733百万円（前年同期比4.1%増）となりました。一方、利益面につきましては、洪水被害のあったタイ国生産拠点での一時的なコスト増加などの影響により、営業利益は159百万円（前年同期比71.0%減）となりました。

#### ③北米

経済政策の効果に伴う一般消費の堅調な回復により、自動車生産台数が増加した結果、売上高は1,471百万円（前年同期比14.2%増）となり、営業利益は11百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、48,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,011百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が2,885百万円増加、受取手形及び売掛金が286百万円、電子記録債権が106百万円減少したことなどによるものです。

負債の残高は、17,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金が409百万円増加、未払法人税等が260百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は、30,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,746百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が1,373百万円、為替換算調整勘定が502百万円増加したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では平成24年5月14日に公表いたしました業績予想について、特に変更はありませんが、今後様々な要因により予想数値の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,661	11,547
受取手形及び売掛金	8,440	8,154
電子記録債権	832	726
商品及び製品	878	767
仕掛品	599	624
未成工事支出金	197	246
原材料及び貯蔵品	1,519	1,502
繰延税金資産	802	821
その他	1,234	446
貸倒引当金	△15	△10
流動資産合計	23,151	24,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,652	11,644
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,839	△4,814
建物及び構築物（純額）	6,813	6,830
機械装置及び運搬具	18,343	19,021
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,057	△14,181
機械装置及び運搬具（純額）	4,286	4,840
工具、器具及び備品	14,805	15,023
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,042	△14,286
工具、器具及び備品（純額）	763	736
土地	5,362	5,281
リース資産	371	374
減価償却累計額及び減損損失累計額	△269	△287
リース資産（純額）	101	87
建設仮勘定	933	813
有形固定資産合計	18,260	18,589
無形固定資産		
投資その他の資産	476	478
投資有価証券	2,179	1,972
投資不動産	2,049	2,181
減価償却累計額及び減損損失累計額	△437	△451
投資不動産（純額）	1,612	1,729
繰延税金資産	349	465
その他	788	766
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	4,866	4,871
固定資産合計	23,603	23,939
資産合計	46,755	48,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,532	7,516
短期借入金	1,334	1,338
未払法人税等	753	492
製品保証引当金	945	958
賞与引当金	809	1,219
役員賞与引当金	16	9
その他	2,073	2,046
流動負債合計	13,466	13,580
固定負債		
長期借入金	1,676	1,868
退職給付引当金	1,369	1,371
役員退職慰労引当金	834	799
資産除去債務	60	60
その他	200	191
固定負債合計	4,141	4,292
負債合計	17,607	17,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,165	3,165
資本剰余金	3,528	3,528
利益剰余金	22,010	23,384
自己株式	△129	△129
株主資本合計	28,574	29,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	803	618
為替換算調整勘定	△1,228	△726
その他の包括利益累計額合計	△425	△107
少数株主持分	997	1,052
純資産合計	29,147	30,893
負債純資産合計	46,755	48,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	11,426	15,830
売上原価	9,957	13,431
売上総利益	1,468	2,399
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	177	205
貸倒引当金繰入額	—	0
役員報酬	70	67
従業員給料	290	338
賞与引当金繰入額	86	88
役員賞与引当金繰入額	9	9
退職給付費用	13	9
役員退職慰労引当金繰入額	18	9
福利厚生費	70	75
旅費交通費及び通信費	49	72
減価償却費	33	36
その他	250	317
販売費及び一般管理費合計	1,071	1,230
営業利益	397	1,168
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	12	13
受取地代家賃	23	36
為替差益	6	69
開発業務受託料	25	13
その他	26	25
営業外収益合計	97	161
営業外費用		
支払利息	6	6
貸貸費用	8	12
寄付金	5	0
その他	1	1
営業外費用合計	21	19
経常利益	474	1,310
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	672
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	5	673
特別損失		
固定資産処分損	48	31
特別損失合計	48	31



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	432	1,952
法人税等	119	412
少数株主損益調整前四半期純利益	312	1,539
少数株主利益	78	61
四半期純利益	234	1,477

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	312	1,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△184
為替換算調整勘定	213	578
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	160	398
四半期包括利益	473	1,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380	1,794
少数株主に係る四半期包括利益	93	143

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,551	3,587	1,287	11,426	—	11,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	569	83	0	653	—	653
計	7,121	3,671	1,288	12,080	—	12,080
セグメント利益又は損失(△)	△157	549	△5	386	—	386

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国

北米：米国

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	386
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	106
全社費用(注)	△95
四半期連結損益計算書の営業利益	397

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,625	3,733	1,471	15,830	—	15,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	923	207	0	1,131	—	1,131
計	11,549	3,941	1,471	16,962	—	16,962
セグメント利益	1,001	159	11	1,171	—	1,171

（注） 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国

北米：米国

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,171
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	108
全社費用（注）	△111
四半期連結損益計算書の営業利益	1,168

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

事業の効率化並びに経営基盤強化を図ることを目的に、嘉興村上石崎自動車配件有限公司を存続会社として、嘉興村上開明堂自動車配件有限公司を平成24年7月19日に吸収合併しております。なお、存続会社とした嘉興村上石崎自動車配件有限公司は、嘉興村上自動車配件有限公司へ社名変更する予定です。

1. 対象となった企業の名称及びその事業の内容

嘉興村上石崎自動車配件有限公司 持分割合100% 自動車用バックミラーの製造販売

嘉興村上開明堂自動車配件有限公司 持分割合100% 自動車用バックミラーの製造販売

2. 実施予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。